



ニューノーマルの中 新たな挑戦へ

2021年4月14~16日 東京ビッグサイト・西館で

我が国最大級のライフサイエンス展示会、「国際医薬品開発展 2021」が4月14~16日の3日間、東京・有明の東京ビッグサイト・西館で開催される。昨年は、新型コロナウイルス感染禍で中止されたが、2年ぶりの開催となる今年は、万全の感染防止策を施して開催される。CPhI Japanを中心とした6つの展示会で構成されている。また、ファインケミカルジャパンおよびファーマIT & デジタルヘルス エキスポ、Medtec Japan が同時開催され、医薬品・医療のみならず関連するデジタルヘルス、ITや医療機器、最新の化学素材・技術にも触れることができ、ジャパン ライフサイエンス ウィーク 2021として来場者、出展社にとって重要な情報交換や商談の場になることが期待されている。

ニューノーマルの環境では初の開催となるが、オンライン出展やオンライン参加など従来とは違ったツールと面談など既存の手法を有効に組み合わせることで、これまでにない濃密なコミュニケーションや商談ができることも。開催に向け、出展社、来場者双方に期待感が高まっている。

JAPAN LIFE SCIENCE WEEK

参加者に十分なベネフィット

国際医薬品開発展 2021 は、メインとなる CPhI Japan (国際医薬品原料・中間体展), ICSE (製薬業界受託サービス), P-MEC (医薬品原料機器・装置展), bio LIVE Japan (バイオフィーマージャパン), InnoPack Japan (DDS 技術・医薬品包装展), NEX ジャパン (生薬・漢方素材エキスポ) の6展示会で構成。ファーマIT & デジタルヘルス エキスポ 2021, ファインケミカルジャパン 2021 および Medtec Japan の3展示会が同時開催される。

昨年は、新型コロナウイルス感染により3月初旬、非常事態宣言が発出され、国際医薬品開発展も中止を余儀なくされ



IP代表取締役

た。今年も、1月中旬以降に再度、非常事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染の影響は続いているが、主催社であるインフォーマ マーケッツ ジャパン (旧 UBM ジャパン) のクリストファー・イブ代表取締役は、「昨年夏以降、弊社は万全の新型コロナウイルス感染防止策を施し、東京、大阪においていくつか展示会を開催した実績がある。国際医薬品開発展でも、これらの実績を生かして感染防止策に万全を期している。また、これまでとは違った展示会の在り方や運営方法を駆使することで、参加企業、来場者双方にとって十分なベネフィットがえられるようにしている」という。

感染防止策では、三密回避のための運営に最も力を入れている。東京ビッグサイト西館1・2ホールを使用するが、時間帯における約1万人の収容可能人数に対して5000人までとし、バーコード管理でリアルタイムでの収容人数を把握

を確保するとともに、ホールやセミナールームの換気も平時を上回るようにしている。

WEB 環境の有効活用

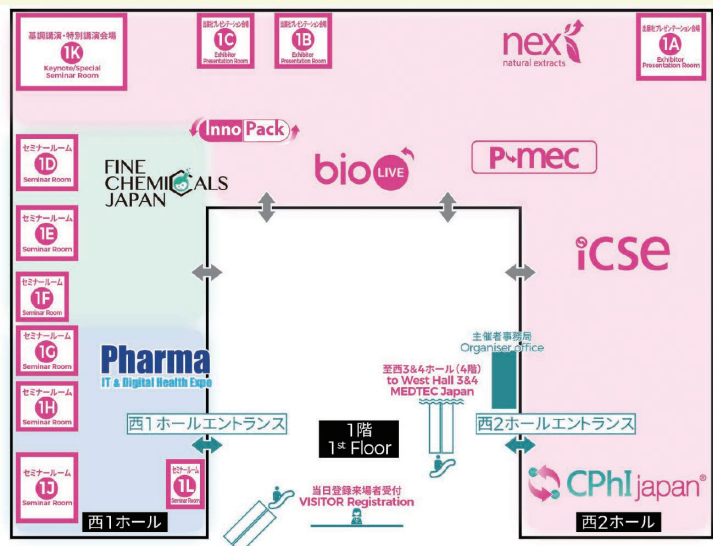
このような制限の中でも、出展社や訪問者のコミュニケーションを確保するため、WEB環境やWEBシステムを有効活用している。3月1日から4月末日まで、コミュニケーション・プラットフォームを設けている。欧米・アジアも含め来場者との接触が可能なシステムで、プレゼンテーション機能も備えている。実際の出展ブースとの併用で、出展・訪問の双方にとって有効なツールになる。

国際医薬品開発展 2021 への出展社はオンライン出展を含み約400社、来場者もオンライン来場を含んで1万5000人が見込まれている。例年に比べ、約2割少ないものの、密度の濃いコミュニケーションを得るには絶好の機会となる。

同時開催展も注目的に

一方、同時開催展も注目的。なかでもファインケミカルジャパン 2021 は、オンリーワンの技術や製品を保有する化学企業が約80社出展する。製薬や医療とは近縁関係にある産業分野であり、出展する化学企業も医薬・製薬企業とのシナジー効果追求、コラボレーションへの期待も高い。国際医薬品開発展と同様にオンライン・プラットフォームも設けられていて、緊密な情報交流や効率的な面談・商談の設定も可能な環境を構築されている。

国際医薬品開発展および同時開催展配置図 (予定)



できるようなシステムを整備。入退場についても逐次管理できるようにしている。また、セミナールームも収容人数を通常の半分に制限するなど、ソーシャルディ

世界製薬市場の最新情報を 基調講演・特別講演日程

●セミナー・展示会の最新情報・お申込みは WEB サイト <https://www.cphijapan.com> をご利用下さい。

会場	種類	No.	日	時間	タイトル	講演者
東京ビッグサイト 西1ホール内	基調講演	1K-1	4月14日(水)	9:30~10:30	最近の薬事規制の動向(承認審査を中心として)(仮題)	厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課 課長 吉田易範氏
東京ビッグサイト 西1ホール内	基調講演	1K-6	4月15日(木)	10:30~11:30	医薬品産業が直面する課題と解決の方向性	中外製薬(株) 特別顧問 名誉会長 永山 治氏
東京ビッグサイト 西1ホール内	特別講演	1K-2	4月14日(水)	11:00~12:00	核酸医薬の展望~新たな合成技術が拓く未来	東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 教授 和田 猛氏
東京ビッグサイト 西1ホール内	特別講演	1K-3	4月14日(水)	13:00~13:45	バイオシミラーの現状と課題	日本医療伝道会 衣笠病院グループ 相談役(日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会代表理事) 武藤正樹氏
東京ビッグサイト 西1ホール内	特別講演	1K-4	4月14日(水)	14:15~15:15	医療ビッグデータの研究開発への活用~次世代医療基盤法で産官学の研究開発はどう変わるか	内閣官房 健康・医療戦略室 主査 小松慶太氏 (併)内閣府, 経済産業省
東京ビッグサイト 西1ホール内	特別講演	1K-5	4月14日(水)	15:45~16:45	iPS細胞を用いた再生医療の実用化を目指して	大日本住友製薬(株) 取締役 常務執行役員 木村 徹氏
東京ビッグサイト 西1ホール内	特別講演	1K-7	4月15日(木)	13:15~17:00	【一般社団法人日本薬業貿易協会主催】原薬国際調達フォーラム 原薬の安定供給と変更管理~海外の状況と日本の薬事規制	原薬の国際調達フォーラム 原薬の安定供給と変更管理~海外の状況と日本の薬事規制
東京ビッグサイト 西1ホール内	特別講演	1K-10	4月16日(金)	11:30~12:15	連続生産のメリット・現状・将来・Key及びシミックCMOの取り組み	シミックCMO(株) 技術開発部兼製剤開発センター 執行役員 技術開発部長 製剤開発センター長 山田昌樹氏
東京ビッグサイト 西1ホール内	特別講演	1K-11	4月16日(金)	13:00~14:00	臨床応用を志向したメディカルAI研究 [ライブ配信]	国立がん研究センター研究所 がん分子修飾制御分野 分野長 日本メディカルAI学会 代表理事 浜本隆二氏
東京ビッグサイト 西1ホール内	特別講演	1K-12	4月16日(金)	14:30~15:30	世界の研究開発と臨床試験の最新動向~2020年に起きた変化と2021年の注目点	インフォーマ・ファーマインテリジェンス アジア太平洋地域編集長, Scrip, Pink Sheet, In Vivo イアン・ヘイドック氏

(注) 同時開催展のファインケミカルジャパン2021でも、4月14~16日の3日間で、27のセミナーが開催される。WEBサイト“ファインケミカルジャパン”での事前登録が必要。

CPhi ジャパン/ファインケミカルジャパン/P-MEC

出展社から



DKSH ジャパンは、CPhi ジャパンに初回から出展し、今回で19回目の出展になります。ニューノーマルと言われる現在、展示会の在り方や中身が大きく変化し、短い期間で、いかに濃い内容のコミュニケーションや商談を成立させることができるかというところに狙いを定めています。

DKSHはグローバルネットワークを強みに、アジアにおいても日本をはじめとして複数の拠点と連携して、商社として顧客のニーズを満たすビジネスを展開しています。既存および新規市場でビジネス拡大を模索する企業に包括的なサービスを提供するマーケット・エクспанション・サービスを中心に、このほど販売代理店契約を締結した米国の医薬品添加剤メーカー「SPI ファーマ」の紹介に努めるなど、ワン・ストップ・サービスの充実もアピールします。

CPhi ジャパンでは、これらのメリットを訴求し、十分な感染対策を施しつつ、顧客との面談に重点をおくとともに、デジタル通信網も活用し、具体的な情報提供、問題解決に力を入れます。

また、併設展の「P-MEC」、同時開催展の「ファインケミカルジャパン」にも出展し、DKSHの幅広い活動をアピールします。

DKSH ジャパン 石原 滋 (社長)

ファインケミカルジャパン

出展社から



ファインケミカルジャパン2021展では、日本軽金属(株)(以下、日軽金)の独自商品である「 α,α' -ジクロロメタキシレン」(MXCL2)をアピールしていきます。極端に核の塩素化が進行しやすいメタキシレンの各メチル基に塩素を反応させたMXCL2は、日軽金が長年培ってきた光塩素化技術および不純物抑制技術が集約され生み出された商品といえます。本展では、皆様に日軽金の塩素化技術も紹介します。

有機塩素化物であるMXCL2のほかにも、無機塩素化物、とくに近年電池向けに注目されている無水塩化アルミニウムの純度改善品や固体の次亜塩素酸ナトリウムであるニッケイアソー®5水塩なども紹介します。

弊社の保有する、環境に優しい水力発電を利用して生産される日軽金の塩素および各商品は、製造時のCO₂排出を抑制した商品として広くアピールするとともに、それらの商品を利用される皆様の環境に対する取り組みにご協力できるものと考えております。

展示会場では、是非とも日軽金のブース(番号「H-12」)までお越し下さい。

展示会場では、是非とも日軽金のブース(番号「H-12」)までお越し下さい。

日本軽金属(株) 外山高志 (化成品事業部市場開発部長)